



# RARO SAFARI TOURS

ラロトンガ島

## ラロ・サファリツアーズ



ラロ・サファリツアーは普段は行けないラロトンガ島の内陸地を4WDで探索できるエキサイティングな半日ツアーです。ラロトンガ島の地形がよくわかるので、滞在の初日にぜひ参加して頂きたいツアーです。

ツアーはサファリカー（4WD）がホテルに迎えに来るところから始まります。海に面したメインロードを通り、他の参加者たちをピックアップした後、経験豊富なガイドがラロトンガ島に関するあらゆる情報や、ツアーの内容を説明し、いよいよ亜熱帯植物が青々と茂る内陸地へと向かいます。緑豊かなアバチウ盆地を通り、更に島の中心へと進んでいきます。

途中でタロ芋の畑が見られます。タロ芋は太平洋の島々にとってとても大切な作物です。ここではタロ芋がクック諸島に伝わった歴史を学ぶ事ができます。また、クック諸島の土地を取り締まる法律とそれがどのように違う世代へと受け継がれてきたかを学ぶ事ができます。

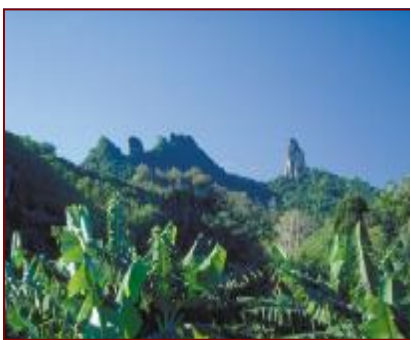
ツアーのほとんどは海に面したメインロードに平行に走るアラメツアとよばれる内陸の道で行われます。その道は勇士のリーダー、トイという男によって約1000年前に開拓されたと言われていています。豊かに広がる色鮮やかなガーデンと森林といったメインロードとは全く違ったラロトンガ島の景色に驚くことでしょう。

全長31kmのメインロードはアラタブと呼ばれ白い砂浜の海岸にそってラロトンガ島をぐるりと一周しています。こちらの道では石灰石で作られた古い教会やお土産屋さんが並ぶアヴァルアの繁華街、パパイアの樹林や旅行者に人気のリゾートなどが見られます。

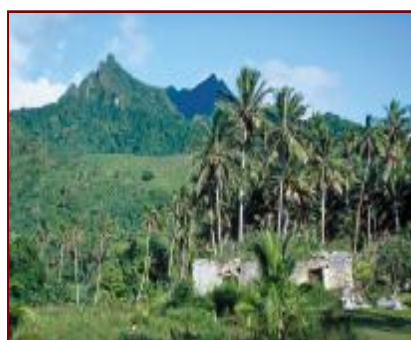
ラロトンガ島に数ある険しい山々のひとつの頂上に行くことと海岸とラグーンの絶景が一望できます。特にムリビーチとそのラグーンに浮かぶモトゥと呼ばれる小さな無人島の景色は息を呑む美しさです。

またキリスト教が伝わる前にマオリ族のリーダーたちが会議や行政、神へのいけにえとして人々を危めるなどの儀式が行われたマラエと呼ばれるマオリ族の神聖な集会場にも足を踏み入れる事ができます。

ツアーを通じてラロトンガ島の歴史や習慣だけでなく、その土地に生える植物を使った自然療法などあらゆる事が楽しく学べます。



火山の頂上に聳え立つニードル岩



内陸地の村



椰子の樹林



タロ芋畑

### ツアーのハイライト

#### マラエへの入場が可能

アライテトンガと呼ばれるマラエ（マオリ族の神聖な集会場）に入る事ができます。普段は旅行者が入場が許されないマラエで歴史や儀式を学ぶ事ができます。

#### アロコ丘からの景色

アロコ丘の高台から見える景色は一度見ると忘れられない美しさです。ムリビーチの海岸とラグーンに浮かぶ4つの無人島が見られます。

#### アバチウ盆地

緑が広がるアバチウ盆地はラロトンガ島を横切るハイキングトラックの出発ポイントです。舗装されていない道を登り続けると、火山性の山の頂上に青空を突き抜くように聳え立つニードル岩が見られます。

#### 病院がある丘

ラロトンガ島の唯一の病院は島の西側の丘の上に位置し、病院を越え更に丘を登るとシダ植物とグアヴァの木が茂る険しい山道が続きます。頂上ではブアイクラ地域とその美しい海岸や刑務所などが見られます。

#### 経験豊富なガイド

島の事なら何でも知っているガイドが歴史や伝説だけでなく今も行き続ける伝統や文化について教えます。植物療法に使われた植物や、郷土料理の作り方などの民間伝承が学べます。

2009年9月現在



ラロ・サファリツアー

病院がある丘を急降下！両脇に谷がある険しい山道を登るとブアイクラの村と谷、刑務所の敷地が見えます



舗装されていないデコボコの道

## ツアー内容

所要時間	3時間半
営業日	月曜日から金曜日、日曜日
時間帯	月曜日から金曜：午前9時から午後1時 日曜：午後1時半から午後4時半
休業日	毎週土曜日 クリスマス（12月25日）と元旦

## 車について

車のタイプ	4WD
席	10席仕様の車が3台 12席仕様が3台
定員人数	最少5名、最高1台につき12名

## 送迎

月曜日から金曜日は午前8時半に、日曜日は午後1時にお迎えにあがります。

## ADDITIONAL INFORMATION

年齢制限はありません。

トイレ	ツアー中、トイレ休憩があります
食事と軽食	月曜日から金曜日のツアーには魚のバーベキューの昼食が含まれています。

## 持ってくるもの

日焼け止め
帽子
虫除けスプレー
飲み水
カメラ



丘からの絶景



ウィグモアの滝

写真撮影にぴったりなこの涼しげな滝は内陸地の後半に見られるウィグモアの滝。

島を横切るハイキングトラックの到着地点でもあります。

この上流でラロトンガ島の飲み水がくみ上げられています。